

## 研究課題名 転移性去勢感受性前立腺癌に対する upfront 治療の検討

### 1. 研究の対象

2018年1月～2022年12月の間に治療を開始した前立腺癌患者さんのうち、前立腺癌と診断された時点で遠隔転移がある患者さん

### 2. 研究目的・方法

【目的】診断時から転移がある前立腺癌患者さんの治療は、アンドロゲン遮断療法（いわゆるホルモン治療、去勢療法）が主体ですが、治療に抵抗性となるとその予後は不良です。

2018年以降、転移がある前立腺癌患者さんに対して、新規ホルモン薬（アピラテロン、エンザルタミド、アパルタミド）やドセタキセル点滴療法を早期から併用する「upfront 治療」が行えるようになりました。日本人患者さんでも有効であることがわかってきましたが、upfront 治療後に進行した患者さんでその後の治療薬の有効性についてはよくわかっていません。また、エンザルタミドやアパルタミドは、upfront 治療として使用できるようになってからまだ日が浅く、実臨床での日本人患者さんのデータは不十分です。

そこで、転移がある前立腺癌患者さんに対する upfront 治療の実態及びその効果、その後の治療に与える影響につき調べるため、本研究を計画しました。

【方法】電子カルテ及び紙カルテより下記の情報を調べます。当院での治療が終了した患者さんについて、ご本人または転医先に問い合わせる場合があります。

研究期間：倫理審査委員会承認日 ～ 2025年 3月 31日まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴（年齢、既往歴、治療に用いた薬剤及び薬物治療以外の治療内容（例：放射線療法）、再燃の有無、死亡情報）、血液・画像検査結果、病理組織検査結果、カルテ番号 等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：shokoishikawa@niigata-cc.jp

当院研究責任者：石川 晶子

新潟県立がんセンター新潟病院 泌尿器科

当院研究責任者：石川 晶子

連絡先：新潟市中央区川岸町2丁目15番地3

TEL：025-266-5111（大代表）